岩井歯科クリニックかわら版

No.19　　2015.5.

ご挨拶

毎日が快晴！で日中は汗ばむほどの陽気です。吹く風もどこやら夏めいてきました。まだ身体が暑さに慣れていない時期でございます。どうぞお身体を大切にお過ごしくださいますよう、心よりお祈り申し上げます。

おもてなし

先日、県の基幹病院とされる総合病院へお伺いする機会がありました。「日本医療機能評価機構」の認定病院と銘打っている、とても立派な病院です。これは医療技術そのものとは関係ありませんが、第三者から「病院としての管理体制が一定以上の水準に達している」と認定され、いわば「サービスの質が担保されている」とお墨付きを得たものといえるでしょう。最先端の医療設備が整い、その医療技術の恩恵に預かった患者さんは数知れないと思います。

しかし、病室をお訪ねして私達が目にした光景は・・・そのお墨付きとは相反するものでした。

『お声掛けもせずに、いきなり仕切りカーテンを開ける』なんていうのは序の口。『ナースコールで呼ばれた、自分より目上の患者さんに対して、２文字ずつしか言葉を発しない。「なにー？」・「どこ？」・「する？」・「行く？」・「それ！」・・・。』

どこか虫の居所でも悪かったのでしょうか？ご親切に対応して下さる看護師さんも沢山おられますが、とても残念な気持ちになりました。

帯津三敬病院名誉院長：帯津良一先生は、こう言っておられます。「医療とは、『**人が、尊厳を保ち続けられるのをサポートすること**』だ。そして医療機関こそ、おもてなしの心を持つべきだ。だって医療機関にいるのは、壊れた機械と修理工ではないからね。」

【心が通い合う歯科医療を目指して】

「医は仁術」と言うとおり、患者さんと医師が出会い、お互いの思いが通じて医療が始まるのです。両者の信頼関係があってこそ「最善の医療」を行うことができます。その結果として、患者さんの自ら持つ「治癒力」が高められ、自然に沿った生き方をサポートできると思うのです。

◎岩井 正博 著：『口福の入れ歯』より抜粋

志を立て、平成 21 年 5 月完全自由診療の医療機関として再スタートしてから、早くも 7 年目を迎えました。本年 5 月で岩井歯科クリニック開業 25 周年となり、私自身も臨床経験 30 年と、節目の年でもあります。

保険診療時代からの患者さんの言葉に支えられ、また新たにご縁があり来院された患者さんの感謝を戴き、ここまでこられましたことを深く感謝申し上げます。

全身の「健康を創る」源は「食」にあります。食を支えるのは「歯」です。今後も更に研鑽を積み、生活の医療ともいわれる歯科治療を通して、皆様の「生きるチカラ」をお支えできるよう努める所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

花便り

◎当院の庭に咲いた『カルミア』の花

別名：アメリカシャクナゲ

＊蕾は「金平糖」のような愛らしい形

＊花冠は、先が浅く五角形の皿型の可憐なツツジ科の樹木

＊花言葉は「優美な女性」「大きな希望」

お知らせ

岩井歯科クリニック「face book ページ」を開設致しました。ご覧いただき、「いいね！」を頂戴できれば嬉しく存じます。https://facebook.com/iwaishika

（このニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。）